

子どもへの接し方

NPO法人み・らいず2

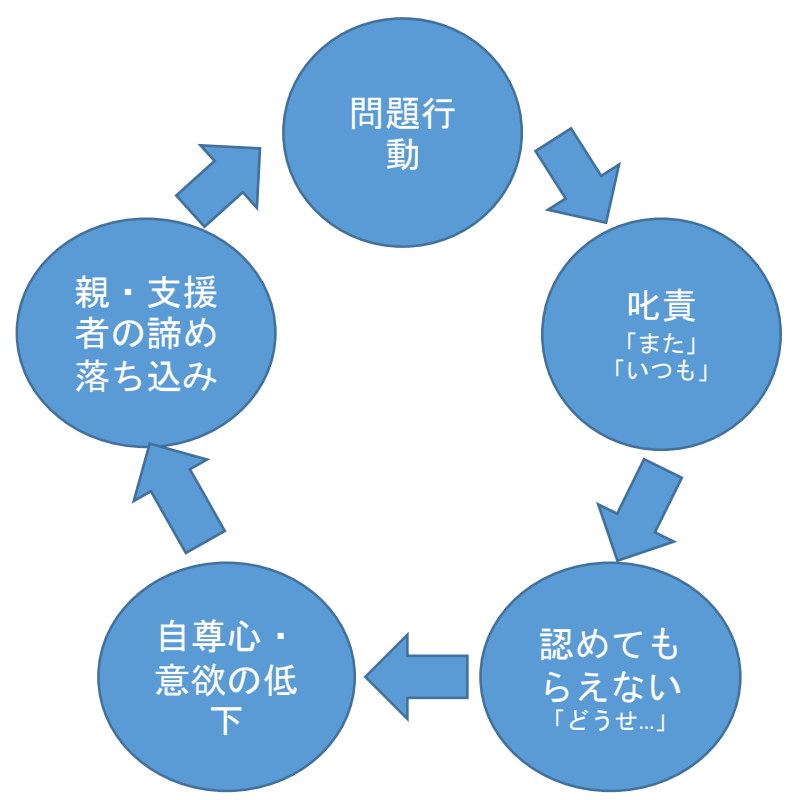
野田 満由美

(臨床発達心理士・精神保健福祉士)

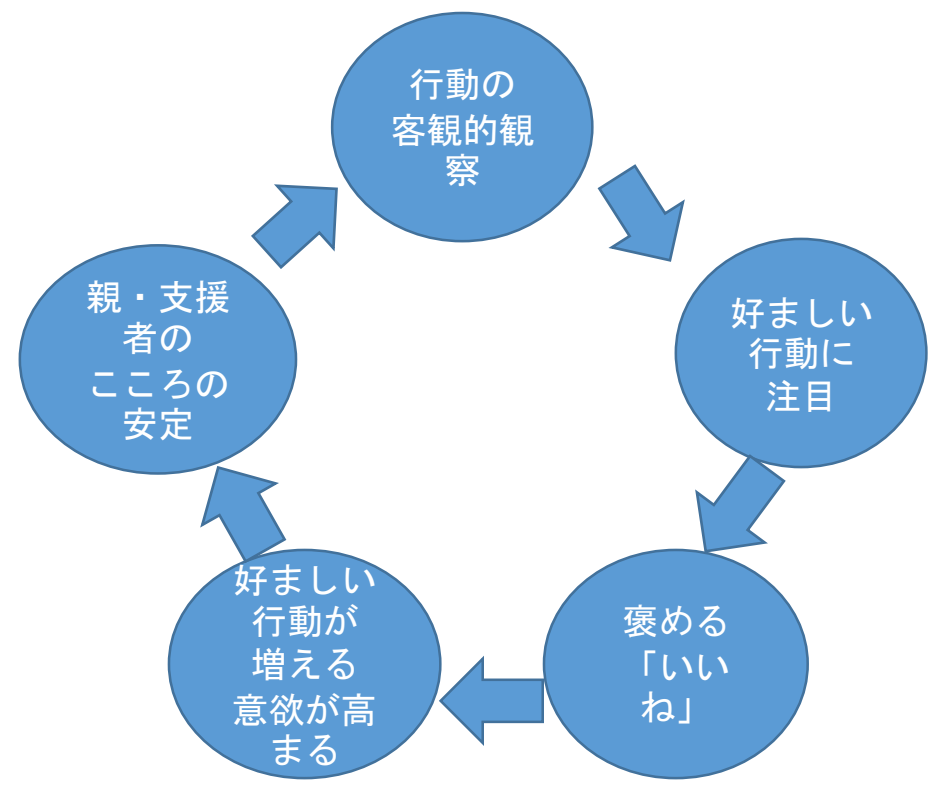
この時間に学んで欲しいこと

- 子どもの「行動に着目する」「なぜ」を考える
- ペアレントトレーニング・ペアレンティングの手法を知る
- SSTについて知る。

関わりの悪循環



関わりの好循環



「ペアレントトレーニング」

1970年代頃からアメリカを中心に実施され始める。
子どもの行動変容の技術を親（関わる大人）が習得することが目的。
子どもの「行動」に着目した「行動療法」を基礎としている。

「Triple P」前向き子育てプログラム

オーストラリアで開発された親向け子育てプログラム。子どもの発達を促しつつ、親子のコミュニケーション、子どもの問題行動への対処法など、それぞれの親子に合わせた方法で具体的な子育て技術を学ぶ。

ステップ0：子どもとの良い関係をつくる

<p>子どもと良い時間を過ごす</p>	<p>30秒から3分程度、子どもが楽しむ活動を一緒にする。 *愛情で安心でき、必要以上の確認を求めてこなくなる。 *大人の「ちょっと待って」や、対応できないということが子どもの行動をエスカレートさせてしまう。</p>
<p>子どもと話す</p>	<p>子どもが関心のあること、興味のあるトピックについて短い会話をする。言葉を交わすことで、子どもの語彙を伸ばし、実用的な言語習得の機会を与える。</p>
<p>愛情を表現する</p>	<p>子どもとのスキンシップ。子どもが「親近感」を感じることができ、大人も「これならできる」という方法で。</p>

ステップ1：子どもの行動を観察・記録する

状況・きっかけ	行動	対応・結果
友人とのトラブルがあった	居場所で他の子どもに暴言を吐く	支援員から注意され、反発する
退屈な時間を過ごしている	騒ぐ	お菓子をもらって落ち着いた
他の子どもとのトラブルがあった	しばらくすると自ら謝れた	支援員から謝れたことを評価された

ステップ2:子どもの行動を分類する

好み、増やしたい行動	嫌いな、減らしたい行動	許しがたい、なくしたい行動
<ul style="list-style-type: none"> • ゲームの順番を替わってもらった時に「ありがとう」と言えた • 自ら宿題に取り組み始めた 	<ul style="list-style-type: none"> • 「すぐにやめる」と言いながらなかなかゲームを止められない • 集団での遊びのなかでほかの子どもの妨害をする 	<ul style="list-style-type: none"> • 友人に向かって「死ね」と暴言を言う • 大人に対して物を投げるなどの行為がある

ステップ3:行動へのアプローチを理解する

好み、増やしたい行動	嫌いな、減らしたい行動	許しがたい、なくしたい行動
<ul style="list-style-type: none"> • ゲームの順番を替わってもらった時に「ありがとう」と言えた • 自ら宿題に取り組み始めた 	<ul style="list-style-type: none"> • 「すぐにやめる」と言いながらなかなかゲームを止められない • 集団での遊びのなかでほかの子どもの妨害をする 	<ul style="list-style-type: none"> • 友人に向かって「死ね」と暴言を言う • 大人に対して物を投げるなどの行為がある
<p>「褒める」</p> <p>すぐに・具体的に・気持ちを込めて</p>	<p>「褒めるまでの待ち」</p> <p>「計画的無視」</p> <p>注目を外し、好ましい行動のタイミングを見計らう</p>	<p>「警告した上での『タイムアウト』」</p> <p>きっぱりと（納得できるルールを伝えた上で）</p>

ステップ4:褒め上手になる

- ①視線を合わせて
- ②近づいて
- ③感情・動作を込めて
- ④タイミング（すぐに・直後に）
- ⑤簡潔に。具体的に

★ポイント★

子どもが「褒められている」と感じることができるかどうか

子どもへの指示の仕方

テクニック1: 予告

- 予告＝本人との約束
- 約束内容の確認
- 本人の意向も確認

テクニック2: CCQ

- Calm＝穏やかに
- Close＝落ち着いて
- Quiet＝静かに

テクニック3:ブロークンレコード

- 指示に従うまで、単調に繰り返す
- 子どもが口答えしたり、言い訳をしたときのみ
- 子どもがイライラしたり、指示を聞かなかつたり、応戦してきたら注意、警告する。

大事なことは…

- ①穏やかさを保つ
- ②同じ言葉で正確に
- ③せかさない
- ④落ちついた感じで

テクニック4:トークン

- 項目は子ども自身で決める
- 楽しみでやる気のでるトークン（ごほうび）の設定
- 毎回、出来たことを見えやすい形で確認する
- 同時に、好ましい行動となくしたい行動を明らかにする

ソーシャルスキルは、「学習」によって獲得される

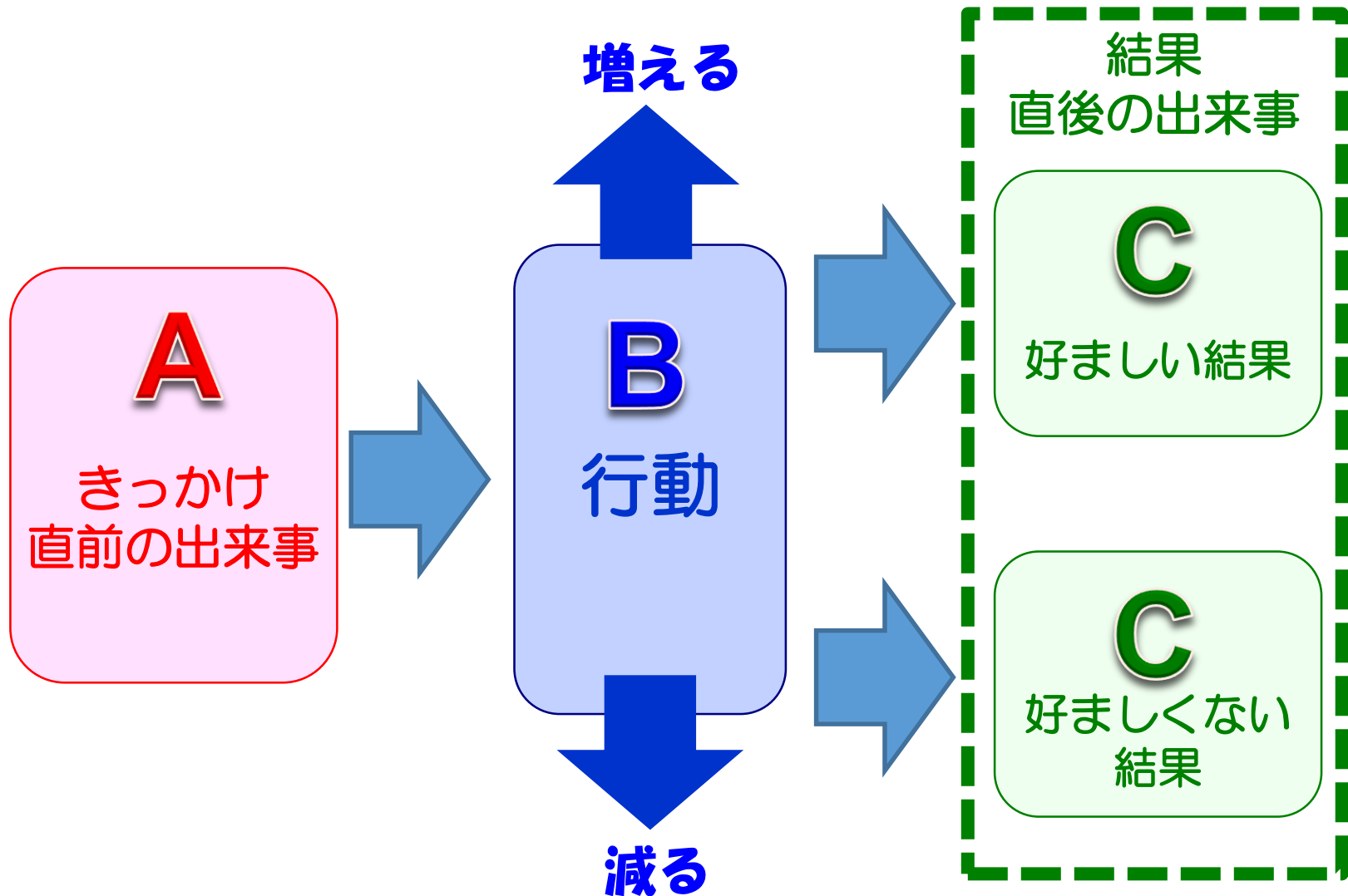
社会化

個人がある社会の中に所属し、適応的に行動できるように、知識・価値・社会的技能・知能を獲得していく過程。

社会性

- ・ 集団をつくって生活しようとする、人間の根本的性質
- ・ 他人との関係など、社会生活を重視する性格。また、社会生活を営む素質・能力。
- ・ 広く社会に通じる性質。社会生活に関連する度合い

行動が増える・減る基本原理



必要なスキルとは

* 困っていること・課題

* どんなスキルがあると解決できそうか
という視点で考える

領域

課題

している

していない

■適切な行動

-
-
-
-
-
-
-

■不適切な行動

-
-
-
-
-
-
-

■知識・理解

-
-
-
-
-
-
-

■阻害要因

- 不安・緊張
- ・
- ・
- ・
- ・
- 動機
- ・
- ・
- ・
- ・

支援方法

- 見守り
- 声かけ
- (
-)
- 環境設定
- (
-)
- その他
- (